

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>

第14期末 (2021年9月27日)	
基準価額	9,621円
純資産総額	172億円
第13期～第14期 (2021年3月26日～2021年9月27日)	
騰落率	△3.6%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第7期末 (2021年9月27日)	
基準価額	9,935円
純資産総額	249億円
騰落率	△3.6%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)

(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

交付運用報告書

作成対象期間：2021年3月26日～2021年9月27日

<3ヵ月決算型>

第13期 (決算日 2021年6月25日)

第14期 (決算日 2021年9月27日)

<資産成長型>

第7期 (決算日 2021年9月27日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2021年9月27日に決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

各ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

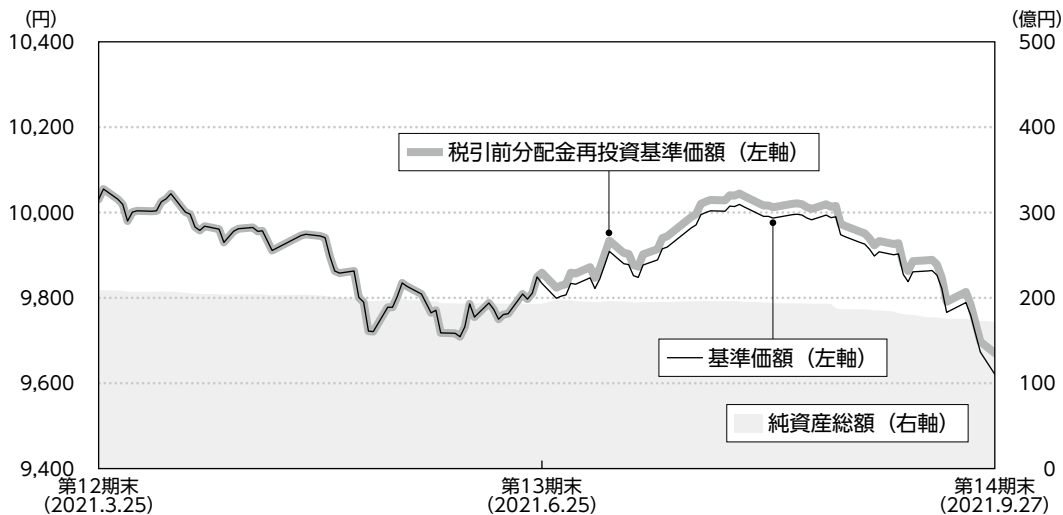
UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2021年3月26日～2021年9月27日

基準価額等の推移



第13期首	10,031円	既払分配金	50円
第14期末	9,621円	騰落率（分配金再投資ベース）	△3.6%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

< 上昇要因 >

- ・ 6月以降、欧州長期金利は低下に転じ、8月中旬にかけて金利低下（債券価格は上昇）が進んだことで、低クーポン債を中心に堅調な値動きとなったこと
- ・ 相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

< 下落要因 >

- ・ 当作成期初から5月にかけて、また8月下旬から当作成期末にかけて欧州金利が上昇する中、デンマーク・カバード債券はデュレーションが長くなる特性がマイナスとなり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大しながら低クーポン債を中心に価格が大きく下落したこと

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

1万口当たりの費用明細

項目	第13期～第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.465%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,891円です。
(投信会社)	(22)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.020	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	48	0.485	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

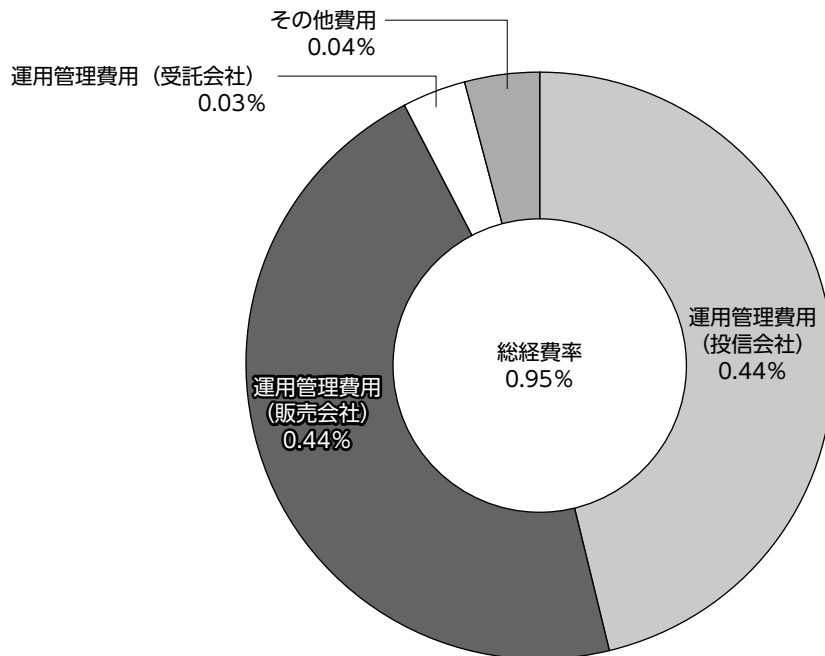
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



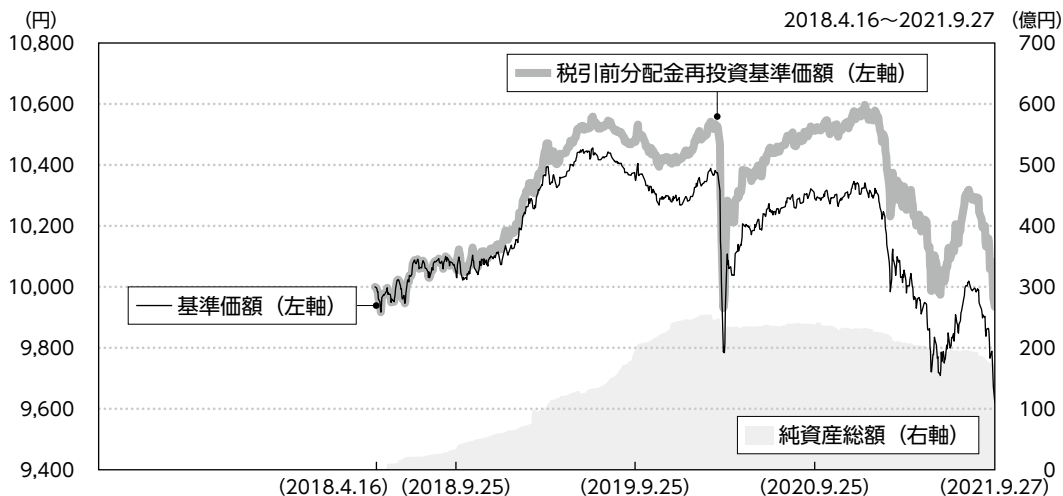
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2018年4月16日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

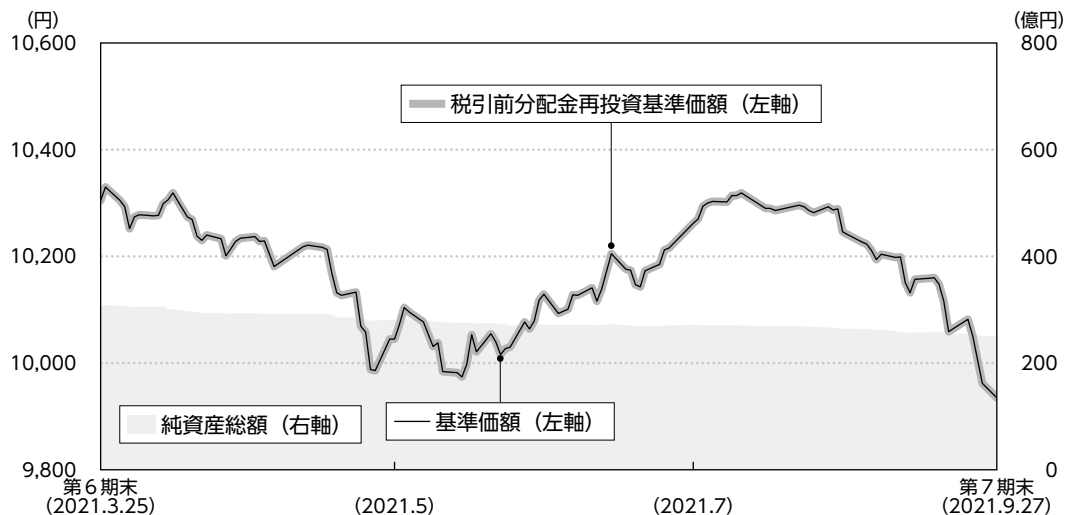
(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2018年 4月16日	2018年 9月25日	2019年 9月25日	2020年 9月25日	2021年 9月27日
基準価額 (分配前)	(円)	10,000	10,049	10,357	10,290	9,621
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	25	100	100	100
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	0.7	4.1	0.3	△5.6
純資産総額	(百万円)	1	3,357	19,679	23,665	17,205

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはベンチマークなどを設けていません。

基準価額等の推移



第7期首	10,305円	既払分配金	0円
第7期末	9,935円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△3.6%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・6月以降、欧州長期金利は低下に転じ、8月中旬にかけて金利低下（債券価格は上昇）が進んだことで、低クーポン債を中心に堅調な値動きとなったこと
- ・相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

<下落要因>

- ・期初から5月にかけて、また8月下旬から当期末にかけて欧州金利が上昇する中、デンマーク・カバード債券はデュレーションが長くなる特性がマイナスとなり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大しながら低クーポン債を中心に価格が大きく下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.465%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,174円です。
(投信会社)	(23)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.020	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	49	0.485	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

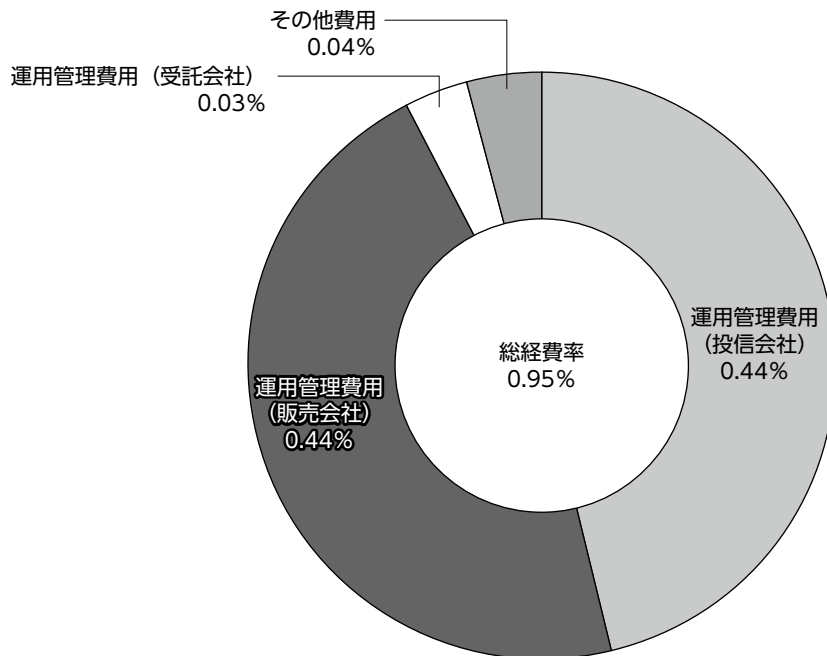
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



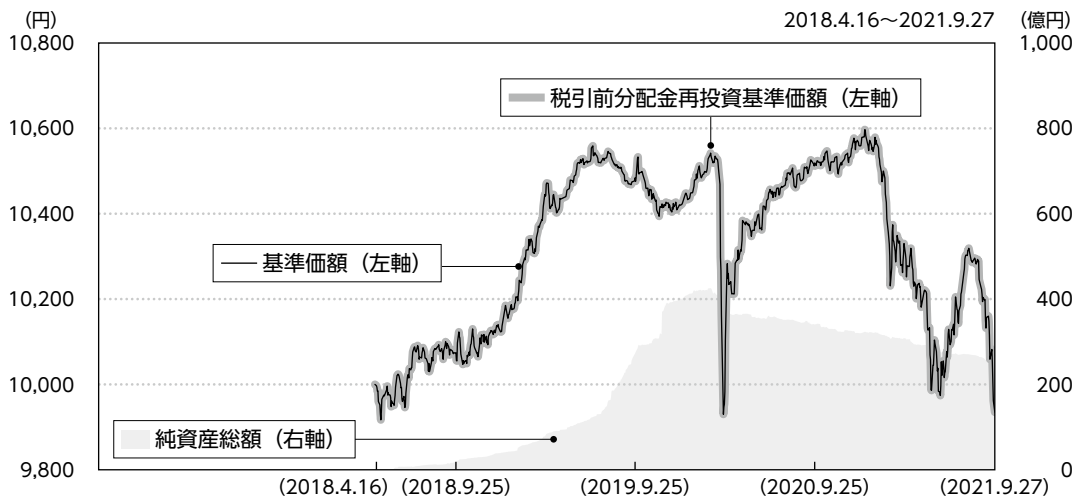
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2018年4月16日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

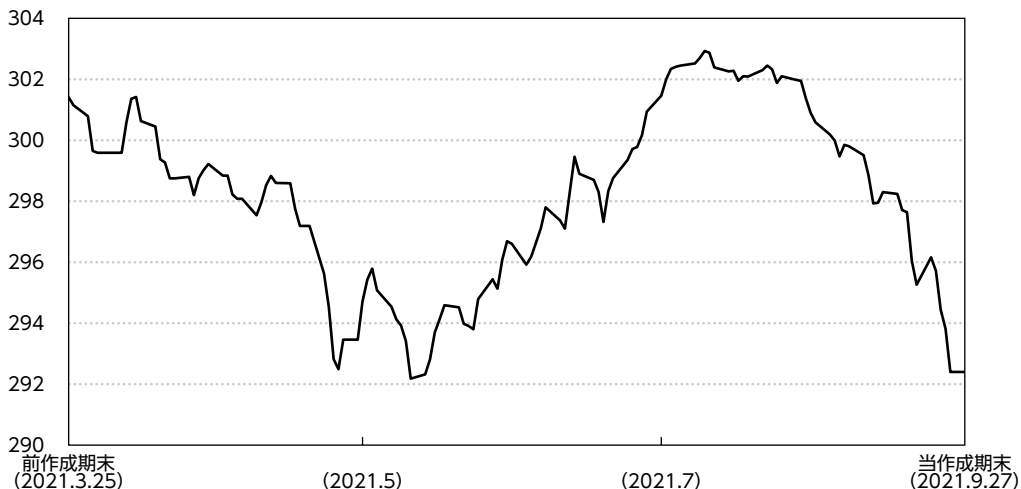
決算日		2018年 4月16日	2018年 9月25日	2019年 9月25日	2020年 9月25日	2021年 9月27日
基準価額（分配前）	（円）	10,000	10,074	10,484	10,519	9,935
期間分配金合計（税引前）	（円）	—	0	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	（%）	—	0.7	4.1	0.3	△5.6
純資産総額	（百万円）	1	1,764	27,263	34,045	24,996

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはベンチマークなどを設けていません。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期の欧州（ドイツ10年国債）金利は5月まで上昇（債券価格は下落）しましたが、6月から8月中旬にかけては低下に転じ、8月下旬から当作成期末にかけては再び上昇しました。

当作成期初から米国債は金利低下に転じたものの、欧州中央銀行（ECB）の一部高官の発言を受けて金融緩和縮小に対する警戒感が高まったことで、欧州長期金利は5月にかけて金利上昇が継続しました。6月以降は、ECBが改めて金融緩和スタンスを示したことや需給要因による債券買いが優勢となり、8月中旬にかけては金利低下が進みました。8月下旬からは、堅調なユーロ圏の消費者物価指数（CPI）速報値やECB高官による金融引き締めに前向きな発言等を受けて再び金利上昇に転じ、欧州各国の国債供給や世界的な金融緩和縮小に対する懸念等を背景に、当作成期末にかけて金利上昇が加速しました。

デンマーク・カバード債券については、5月にかけて欧州長期金利が大きく上昇する中、デュレーションが長期化したことや住宅ローンの借り換えに伴う発行増等による需給悪化の影響もあり、低クーポン債を中心に価格は下落しました。6月に入り、欧州長期金利が低下に転じる中でも、デンマーク・カバード債券は需要が戻らず軟調に推移しましたが、徐々に債券市場のボラティリティ（価格変動性）が低下したほか、債券発行がピークアウトしたこともサポート要因となり、債券価格は上昇に転じ、それまでの価格下落を大きく縮小させる展開となりました。8月下旬から当作成期末にかけては、欧州金利が急速に上昇する中、再びネガティブコンバクシビリティリスクが顕在化し、スプレッドが拡大しながら価格は大きく下落する展開となりました。

(注) ネガティブコンバクシビリティとは、発行体の繰り上げ償還オプションを内包している債券の場合に、金利が低下する際の債券価格はデュレーションの傾きほど債券価格は上昇しない一方、金利が上昇する際の債券価格はデュレーションの傾き以上に低下する状態のことです。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でノルディア・クレジット（30.9%）、ニクレジット・リアルクレジット（30.7%）、ユスケ・リアルクレジット（29.1%）、リアルクレジット・デンマーク（9.3%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第13期	第14期
	2021年3月26日～2021年6月25日	2021年6月26日～2021年9月27日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.25%	0.26%
当期の収益	8円	5円
当期の収益以外	16円	19円
翌期繰越分配対象額	354円	335円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2021年3月26日～2021年9月27日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	481円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

ECBがインフレ目標の持続的達成が見込まれるまでは緩和的な金融政策を継続することを示唆している中、デンマークについても自国通貨の対ユーロでの安定を目的に緩和的な金融政策が継続されると見込んでいます。金融政策のサポートもあり欧州債券市場は徐々に下値を固める展開を予想します。

デンマーク・カバード債券については、債券市場全体の金利上昇が一服するまでは軟調な値動きが継続する可能性はありますが、債券市場での金利の動きが落ち着きを取り戻し、ボラティリティが低下すれば、良好なクーポン収入によって徐々にパフォーマンスは回復するとみています。また、不動産売買が鈍化していることや住宅ローンの借り換えが限られていることなどを背景にカバード債の発行量が抑制されていることも、需給面からパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第14期末 2021年9月27日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

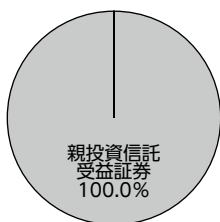
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

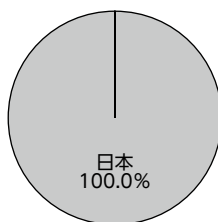
項目	第13期末 2021年6月25日	第14期末 2021年9月27日
純資産総額	19,305,197,298円	17,205,418,093円
受益権総口数	19,630,673,453口	17,882,273,527口
1万口当たり基準価額	9,834円	9,621円

(注) 当作成期間（第13期～第14期）中における追加設定元本額は650,061,513円、同解約元本額は3,549,807,096円です。

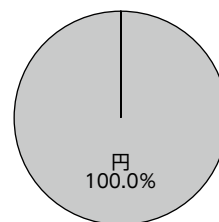
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2021年9月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第7期末 2021年9月27日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

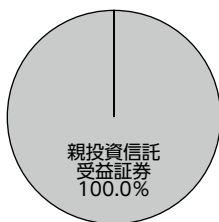
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

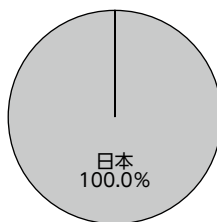
項目	第7期末 2021年9月27日
純資産総額	24,996,439,547円
受益権総口数	25,160,008,348口
1万口当たり基準価額	9,935円

(注) 当期間中における追加設定元本額は346,477,829円、同解約元本額は5,051,488,979円です。

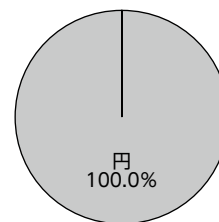
■ 資産別配分



■ 国別配分



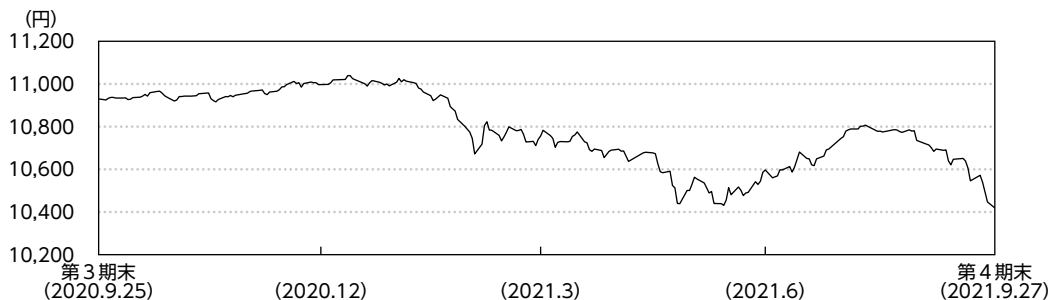
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2021年9月27日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

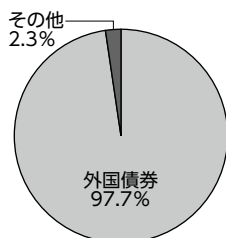
銘柄名	通貨	比率
JYSKE REALKREDIT A/S 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	17.9%
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	15.5
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	10.0
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.6
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	7.0
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	5.7
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	5.6
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.5
JYSKE REALKREDIT A/S 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	3.5
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	3.5
組入銘柄数		18

■ 1万口当たりの費用明細

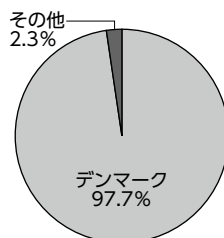
2020.9.26~2021.9.27

項目	金額
その他費用 (保管費用)	4円 (4)
(その他)	(0)
合計	4

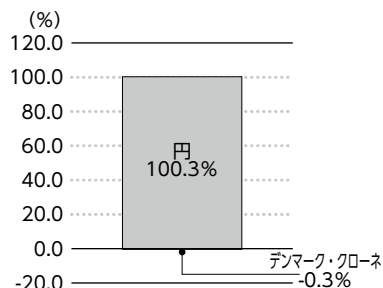
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



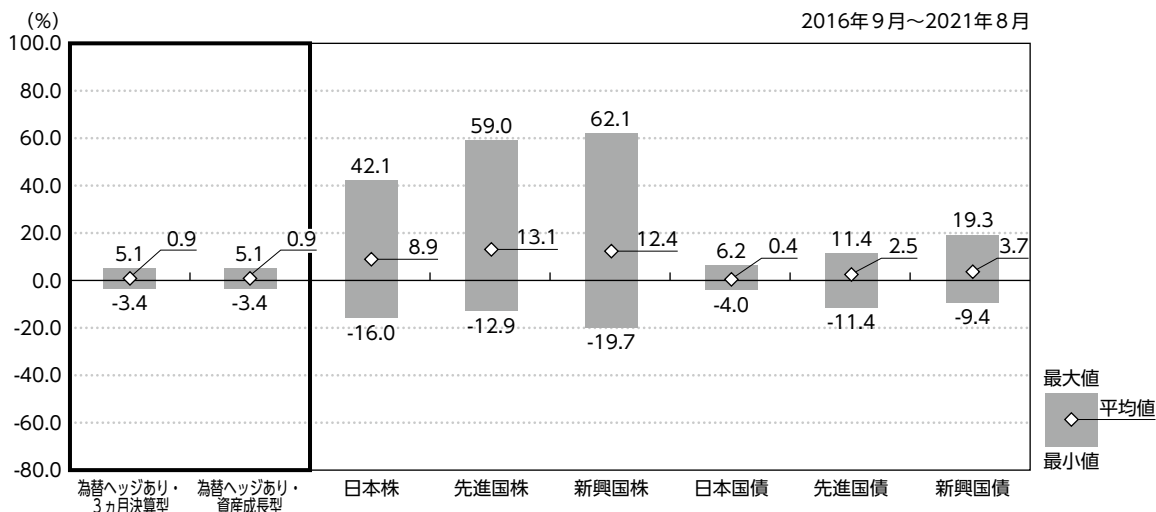
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2021年9月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、各ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは各ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、各ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 各ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみの記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが各ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびT O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、各ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間		2018年4月16日～2028年9月25日	
運 用 方 針		<p>①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>